

第2分科会 動きだす、同僚とつながる教員の育成に向けて ～OSAKA教職スタンダードを活用して～

大阪府教育センター 教育企画部 学校経営研究室

教員には、「これからの時代に対応できる資質・能力」を見童・生徒に育むための力量を高めるとともに、「チーム学校」の理念のもと、課題解決のために組織的・協働的に取り組む姿勢が求められています。このような中、大阪府では、教員一人ひとりの資質・能力の向上に向けて、「OSAKA教職スタンダード」等を策定し、キャリアに応じた目標設定等に活用できるようにしています。本分科会では、この「OSAKA教職スタンダード」を活用したワークショップ（校内研修）による人材育成の実践例をお伝えするとともに、参加者間の交流を通じて、教員一人ひとりの資質・能力向上に向けた方策についてみなさんと一緒に考えていきたいと思ひます。

実践 発表

富田林市立彼方小学校
泉南市立西信達中学校
府立東高等学校
府立泉北高等支援学校

講評

大阪教育大学大学院連合教職実践研究科
特任教授 田中 満公子

参加者間で人材育成について意見交流の時間もあります

参加者のアンケートより

- ・OSAKA教職スタンダードを活用することで、自分の強みや課題がはっきりし、自己理解の深まりにつながることが分かりました。評価の手段のような印象をもっていたが、活用次第で教職員が個々の強みを生かし合い、つながり合う文化をつくるきっかけになると感じました。
- ・教職スタンダードについてのお話を伺い、どのように人材育成、研修奨励につなげることができるかについて考えることができました。
- ・校長が主体ではあるが、教職員「全員」で意識を共有して取り組んでいくことが何より大切であると感じた。なぜこれに取り組むのかというねらいを共有することが、上手くすすんでいくために必要であると思いました。